

育メン紹介

「縁〈園〉に感謝」

石川 和広さん

(年長組 颯くんのお父さん)



よちよち歩きで、もみじみいたな手が可愛かった颯大ももう年長組となり、4月からは小学生です。6年前、妻へ「3倍子育て頑張るから!」と言った言葉も何処へやら・・・倍も頑張っていないと冷たい視線を受け、「イクメン」と言われるには程遠い中で育児にかかわってきました。

そうした中で私が思ったことは、子育てはいつの時でもゼロからのスタートではないかと。夫婦はもちろん、子どもと二人三脚で歩んでいかなければと考えます。なかなか思うように行かない時など、先生方や颯大の友だちのお父さん、お母さん方に話をお聞きしたりして気持ち的に助けて頂いた時もあり、今日まで来ることができました。

妻へのありがたさは言うまでもなく、颯大を通じて知り合えた先生方と父兄の方、周りの方々のご縁に感謝し、大人になった颯大が一番誇れる親父になる様、今後も精進して行きます。



プレゼンター

渡邊 祐太郎さん

(年長組 桜華さんのお父さん)



育メン紹介の作文を書いて欲しいと妻から言われた時は驚きました。日頃夜勤の為に直接育児に関わる事が殆ど無かったのです。何か挙げるとすれば、私なりのアイデアやプレゼンで想い出を重ねられる様に行動しているという事でしょうか。

例えば毎回とはいきませんが、遊園地や水族館等へ連れていく、観光地見学や宿泊の企画、体験経験を通じて様々な気づきや感性を高めてもらえる様なイベントを組むといった感じです。

最近では保育園のハロウィン行事に仮装しての飛び入り参加をさせていただきました。私にとっての育児は、妻とはまた違った世界で、私を始めとして子ども、家族全員の想い出作りだと思っていますので、今後も私なりの喜楽を感じて多くの想い出を作ってもらえたらと思っています。



ゆめポケット

社会福祉法人 米沢仏教興道会
興道北部保育園

米沢市塩井町塩野1476-1
TEL (0238) 21-5070 FAX (0238) 21-5128
HP <http://hokubu.yb-koudou.jp>
E-mail koudou-hokubu@yb-koudou.jp



第24号
2020.3.10



こんなに
大きく
なりました

いつも子どもたちに元気をもらってます!!

主事 菊池 良宏



8月から北部保育園で事務を担当しております。

なんてかわいいんだ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

毎朝あいさつ回りと理由をつけて赤ちゃんたちを愛でにっは泣かれていたのですが、最近ようやく慣れてくれました。寝返り、ハイハイ、つかまり立ちと日に日にできることが増えていく子どもたちを見て元気をもらっています。

1・2歳組・幼児組の子どもたちは最初から寄ってきてくれて、いろんな質問をしてきてくれたり一緒に走り回ったり上に乗られたり、毎日楽しく遊んで(遊ばれて)います。残念ながら園庭が狭いので遊び方が限られることもありますが、毎日のように室内で取り組んでいる鉄棒では大人でもできないようないろんな技を披露してくれたり、4、5歳児が先生になって折り紙やあやとり教室が開かれていたり、子どもたちは自分たちのできる遊びを楽しんでいます。

子どもたちがいつも笑顔で過ごせるように、主事も笑顔でがんばります!!



育児講座

みつば治療院院長の伊藤利春氏を講師にお招きし、子どもの「体幹」の育み方について話をお聞きました。時代の流れと共に生活環境が便利になり、今の子どもたちは体力の低下や怪我をしやすいうちが増えているとのことでした。子どもの心とからだの健やかな成長の土台を育むため、今しかないこの時期に、今しかできないあそび=学びの経験をさせることの大切さを学びました。「小さなキズ(挫折)が多いほど、大きなケガや事故は少ない」という話をお聞きし、子どもたちにはあそびから様々なことを学び、成長と共に大きな挫折を乗り越えられる強さを身に付けてほしいと思いました。

記 佐藤



編集後記

今年度は、新しい年号の令和に変わりました。興道北部保育園の子どもたちは地域の方に見守られながらすくすくと育っています。未来を担う子どもたちの健やかな成長を一緒に祈っていきたいと思います。

記 島津

卒園を目前に、子どもたちは、将来の『夢』について話をすることが多く見られるようになりました。「恐竜博士になる」「図書館の司書になる」「スパイダーマンになるぞ」「お医者さんになりたい」「保育士になりたい」等々・・・目をきらきらさせながら話す姿は、希望に満ちていてとても気持ちが良いものであり、誇らしくもありません。子どもたちにとって、かくかく見えたり、素敵に見えたりすると、小さな胸の中に、憧れが生まれ、いつしかそれが夢となっていくようです。

小さな胸に生まれた夢は、その後の希望や目標を持ち続ける原動力となっていくと思っています。

日々、私たちは、人間味あふれるかわりを大切にしながら、夢に向かって「自分を信じる力」を育み、そして、自ら「あんな風になりたい」「やってみよう」と思えるような心が動く経験を存分に味わってほしいと保育させていたたいと思っています。

子どもたちには、毎日笑ったり、泣いたりしながら「夢」と共に大きくなっていくことを願っています。



『夢』と共に・・・
興道北部保育園園長
板垣 雅子



0歳

日に日に心も体も大きくなっていく0歳児。

安心できる大人のかかりからどんどんと周りのお友だちへ興味もわいてきています。一緒に目を合わせて笑ったり、手をつないで歩いたり、時にはお世話をしてくれたりと友だちや異年齢でのかかりの中でぐんぐん成長中です。



1歳

友だちや周りの人に興味を示し、自分からかきわりをもとめたり、真似っこを楽しんでいます。少しずつ言葉も出てきて、「〇〇ちゃん」と友だちの名前を呼んだり、「かして」「いいよ」など簡単なやりとりをしたりしながら、生活や遊びの中で人とのかきわり合うことの嬉しさや楽しさを感じています。



2歳

子どもたちは友だちと一緒に同じ遊びをすることが大好きです。友だちが側にいることが嬉しくて安心して過ごしたり、友だちが困っているのを見かけたりすると「どうしたの?」と優しく声をかけてくれます。



『友だちっていいね』

さいた さいた みんなのえがお
~いっしょがうれしい!いっしょがたのしい!~

子どもたちにとって、人のかかりの原点は大好きな大人の存在です。大好きな人との心地よいふれあひから、愛される喜び、ふれあう温かさを感じ、信頼感を持てるようになり心も育くまれます。園生活では、大好きな保育者を心のよりどころにして、少しずつまわりへと目を向け、身近な大人や友だち、異年齢の友だちへとかかりを広げていきます。その中で、見て真似てやってみて教え合いながら自然に学び合っています。

3歳

友だちと一緒に遊ぶことに喜びを感じ、楽しんでいます。イメージも豊かになり、それを言葉で「こうしよう」「みてみて」「順番ね」などと会話を弾ませ意気投合し、いきいきと遊ぶ姿が、とても微笑ましいです。



4歳

「ここはどうする?」「ぼくはここをするね!」と友だちと一緒に考えたり役割を決めたりし、イメージを共有しながら楽しんでいます。譲ったり我慢したりすることができるようになり、相手の気持ちにも気付けるようになってきています。

5歳

心も体も大きくなった年長の子もたち。年下の友だちに優しくかかり、面倒を見たり一緒に遊んだりする姿も多く見られます。また、友だちと一緒に遊びを考え、協力して必要なものを作り、集団で遊ぶことも楽しんでいます。

